

9月7日開業医慢性痛セミナー アンケート集計結果 (34名回答/ 51名参加)

①職業について

- ・開業医 22名
 - (診療科 ペインクリニック科 10名
 - 整形外科 11名
 - 一般内科 1名

- ・勤務医 7名
 - (診療科 麻酔科・ペインクリニック科 3名
 - 整形外科 1名
 - 外科 1名
 - 未回答 2名

- ・その他 理学療法士 5名

②今回のセミナーについて

- ・よかった 22名
 - ・まあよかった 9名
 - ・あまりよくなかった 0名
 - ・まったくよくなかった 0名
- 未回答3名

③モデル事業セミナーの良かった点

- ・集学的治療をしている施設の存在を知ったこと。心療内科とはどういう診療科であるかがわかったこと。
- ・知らない慢性疼痛へのアプローチはなんとなく触れられたこと。
- ・痛みを取り除くことを目的にしない点。
- ・心療内科の見立て
- ・他院での取り組みを知ることができた。明日からの慢性疼痛患者への対応のヒントを得る事ができた。
- ・全てですが心療内科のお話が素晴らしかったです。
- ・慢性疼痛のPTの方のアプローチが勉強になりました。

- ・複数の専門家・多分野の Dr の意見・見解が聞けたこと。
- ・慢性疼痛の取り組み方が理解できた。
- ・開業医での取り組み方、現在の診療報酬・医療診療でかなりのことができるということが理解できた。(中塚先生)
- ・医師としての慢性痛への対処の仕方が整形外科・リハビリ・心療内科・ペインの立場から理解できた。
- ・慢性疼痛患者の目標設定・対応方法・コミュニケーションをよりイメージしやすいものとなったと感じました。
- ・実際痛みに困っている患者さんとの接し方を想像し易かった。
- ・心理面への関わり方の講義が非常に勉強になりました。
- ・水野先生のご講演で気付かされることが多く、大変参考になりました。
- ・それまで医師単体・理学療法士単体で対応していたため、集学的治療の有効性について学習できた。
- ・各医療機関の取り組みが紹介された。
- ・心理療法への興味をもった。
- ・集学的治療の適応の整理が理解できた。心療内科的なかわりがよく分かった。高齢者の locomo や frail は慢性疼痛なのかな？ACP は？とちょっと考えさせられた。
- ・慢性痛の多角的アプローチを学べた。
- ・日常診療に役立つ話が聞けた。

④リハビリ療法士の雇用状況について

- ・今は雇用していない

→将来も雇用する予定はない 5名

→将来検討したい 8名

- ・現在の雇用状況

開業医（整形）A：理学療法士 5名

開業医（整形）B：理学療法士 6名

開業医（整形）C：理学療法士 2名

開業医（整形）D：理学療法士 3名 作業療法士 1名

開業医（整形）E：理学療法士 10名

開業医（整形）F：理学療法士 1名

開業医（整形）G：理学療法士 3名

開業医（整形）H：理学療法士 2名 作業療法士 1名

開業医（ペイン） A：理学療法士 11名 作業療法士 1名
開業医（ペイン） B：理学療法士 1名

勤務医（無記入） A：理学療法士 45名 作業療法士 10名
勤務医（ペイン） B：理学療法士 3名 作業療法士 1名 心理士 2名
勤務医（外科） C：理学療法士 5名
勤務医（整形） D：理学療法士 5名 作業療法士 5名

未回答 2名

⑤リハビリ療法士の今の診療内容について

- ・主にマッサージなど患者にとって受け身の治療が中心 1名
- ・運動療法など患者にとって能動的な治療が中心 6名
- ・上記、両方の治療を実施 11名

⑥今後どんな企画を希望されますか？

- ・多職種から慢性疼痛患者を評価してカンファレンス等でどのように解釈して治療方針を決定しているのかを知りたい。
- ・PT・OTに対して疼痛の基礎的な教育セミナー
- ・医師や療法士以外の看護師や心理士の考え方も知りたい
- ・座学のみでは私が実際に治療するのは難しいです。治療の実際を見たい。見学ツアーを組んでください。武田邦彦教授は「腰痛で悩み、名古屋大の整外であらゆる治療を受けたが全く改善せず接骨院で数回治療を受けたら完治した」とネット上で発信しています。痛みの取れない治療には金を払うな！と。医療類似行為の疼痛緩和率を知りたいです。
- ・心療内科の講義が聞きたいです。交通事故診療についてもお願いしたいです。
- ・認知行動療法の実際の手法、クリニックレベルでできる方法
- ・具体的な理学療法（運動療法）の講習
- ・整外、ペインクリニック開業医の慢性痛への取り組み
心理士、療法士の慢性痛への取り組み
- ・慢性疼痛における経営的な面の講演など
- ・具体的な症例検討
- ・集学的アプローチについて
- ・近年でも地域差があり、レベルの低い地域に合わせたような、わかりやすい開業医での取り組み、PTの役割、医師の全身的治疗として漢方治療、経営が成り立つか。医師会へPRできるようにお願いします。
- ・薬物療法の導入と中止のタイミング

⑦このセミナーをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

ア. ホームページ 4名

イ. Facebook 0名

ウ. 案内メール 10名

エ. チラシ 8名

オ. 知人から 9名

カ. その他 7名

（医師会、産業医研修会、中塚先生の講演、三木先生の講演）